

令和5年4月28日
調布市教育委員会指導室

令和4年度学校に行きづらい子どもの保護者の集い報告について

1 事業のねらい

学校に行きづらい児童・生徒の保護者の多くは、子どもへの接し方などにひとりで悩み孤立しがちであることから、保護者を対象とした情報提供や情報交換の機会をつくるなど、子どもへの対応のヒントや心のサポートを得られるようにする。

2 令和4年度実施内容

各学期に1回開催するほか、土曜日に1回開催し、合計4回実施した。

教育心理の専門家の講演や、不登校経験のある大学生本人とその保護者の講演を通じて、保護者が子どもへの対応のヒントや心のサポートを得られるよう支援するとともに、保護者同士の情報交換（グループトーク）を実施し、保護者同士が悩みや不安を話し合える場を提供した。また、様々な相談先や支援の情報提供を行った。

事業の周知方法については、学校安全・安心メールを活用し、より広い周知に努めた。

<第1回>

○日時 令和4年7月8日（金）午前10時から正午まで

○場所 調布市教育会館 301・302研修室

○内容

- ・講演 講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生
テーマ「子どもの心を元気にするには」
- ・保護者同士の情報交換（グループトーク）

○参加者数 15人

○アンケート内容抜粋

- ・学校に行ける、行けないではなく、子どもの心を元気で健康な状態にしておくことが大切だと改めて思った。
- ・もっと子どもの良さを認めてたくさんほめようと思った。
- ・他の人の体験談を聞いて参考になった。
- ・自分の悩みを話せて心が軽くなった。

<第2回>

○日時 令和4年9月3日（土）午後2時から午後4時まで

○場所 調布市教育会館 301・302研修室

○内容

- ・講演 講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生
東京学芸大学大学生・保護者

テーマ「私の不登校年表」

- ・東京学芸大学松尾先生と東京学芸大学大学生によるトークセッション

○参加者数 29人

○アンケート内容抜粋

- ・不登校の経験があったからこそ、今の自分があるという言葉に勇気をもらった。
- ・一緒に頑張っていけば、成長していくのだなというイメージを持つことができた。頑張っていこうと思えた。
- ・お母様のお話を聴いて、自分自身と同じだと思うことが多くて、これでいいのかなと、少し気持ちが軽くなった。

<第3回>

○日時 令和4年11月7日（月）午前10時から正午まで

○場所 調布市教育会館 301・302研修室

○内容

- ・講演 講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生
テーマ「学校に行きづらい子どもの成長と学び」
- ・訪問型支援「みらい」事業紹介
- ・保護者同士の情報交換（グループトーク）
- ・松尾先生による質疑応答

○参加者数 30人

○アンケート内容抜粋

- ・「学び」を広く捉える、「お家で元気なのが何より」という言葉がありがたく、現状を明るく照らしてくれる心地がした。子どもにあった「場」を探していく元気が出た。
- ・最近の傾向や新しい情報を知れて勉強になった。
- ・人と話すことで自分の家庭や子どもの状況を省みたり、考えたりする時間になり、気づきがあり、有意義な時間だった。
- ・初めて同じ立場の方とお話できてとてもよかった。

<第4回>

○日時 令和5年2月27日（月）午前10時から正午まで

○場所 調布市教育会館 301・302研修室

○内容

- ・講演 講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生
テーマ「春を楽しもう：学期末・学期始め」
- ・子ども・若者総合支援事業ここあ紹介
- ・保護者同士の情報交換（グループトーク）
- ・松尾先生による質疑応答

○参加者数 20人

○アンケート内容抜粋

- ・春は不安なところだったのでタイムリーな議題でありがたかった。見通しをもたせる、変わる場所、変わらない場所を話してみようと思う。
- ・自分だけじゃない、同じ悩みの方がいるということを実際の話をお聴きすることで、とても不安が取り除かれた気がする。

3 令和5年度の実施予定

引き続き、各学期に1回及び土曜日1回の合計4回の開催を予定。